

皆さま、こんにちは。

十月のミシガンは一気に気温が下がり、秋らしくなってきました。

マーチングバンドは、十月上旬にあった Marching Festival での発表と Home Football Game のハーフタイムをもってひと段落しました。現地生のメンバーと同じようにふけるようにと、一か月間、一生懸命に覚えた7曲も、この日が最後の発表でした。

早速、次の季節に向けて膨大な量の楽譜を配布され、譜読みをしています。今回はメンバーと一緒に新曲練習のスタートダッシュが切れたため、焦ることなく同じスピード感で練習が出来るのでほっとしています。

九月末から十月初めの一週間は、ホームカミング (HoCo) という卒業生を迎える行事週間がありました。

春のプロムの次に盛り上がる秋の一大行事と言われ、準備段階から学校全体の雰囲気が高まっていたのを感じていました。

今年度の私の学校のテーマは “Decade(10年)” で、学年によって 1950・1970・1980・2000 年代と違う時代を表現することがテーマでした。他にも学年カラーや、双子コーデをテーマにした日などがあり、毎日違う服装を友達とお揃いにして登校しました。そのままいつも通り授業を受けるのですが、校内には先生も生徒も、毎日色々なテーマの服装をした人がいて、写真を撮り合うなど楽しい雰囲気でした。

夜には校内でダンスパーティも開かれ、男女とも高校生達がドレスアップして、友達の家やレストランに集まってから参加し、大盛り上がりでした。

また生徒投票で、成績優秀で人望があるホームカミングキングとクイーンが選ばれました。10人ずついる候補者たちはアメフトの試合のハーフタイムで、校長先生から冠と花束を授与されて、ひときわ応援席から歓声が上がりました。

ホームカミング最終日の Powder Puff Game では、私は女子アメフトの学年対抗試合の選手として参加しました。当初、友達から声をかけられて参加を決めたものの、メンバーは現地生ばかりで、未経験でルールすら知らなかったのは私だけという状況でした。

しかし同学年のアメフト部員や同じチームのメンバーが、ルールから試合中の作戦も丁寧に教えてくれたおかげで、相手をブロックしたり、ボールをキャッチしながら走り抜けたり、無事にゲームをする事ができとても新鮮でした。どの学年よりも人数が少なく、交代が少なく大変でしたが、試合では 20 対 7 で、チームが見事に勝つことが出来ました！

アメフトのハーフタイムでは、何回かマーチングでパフォーマンスをしてきましたが、マーチングでしか入ることは無いだろうと思っていたこのフィールドで、まさか自分が試合に出る側になるとは思わなかったので、応援する側と応援される側のコントラストを楽しめ、貴重な体験になりました。アメリカは、たくさんのスポーツを広く浅く経験出来ると言われますが、運動が得意でない私にもチャンスを与えて、ルールを教えてくれたメンバーに感謝しています。



女子アメフトの試合後



マーチングのパフォーマンス

さて、9月から課外活動のひとつとして Youth in Government (「若者による模擬政府」と訳すのが近い感覚かもしれませんが) で2週間に1回、活動をしています。

10月中旬、地域を越えて数校が集まり、Fall Conference (秋期会議) が開催され、参加してきました。Youth in Government はアメリカの国会を手本としていて、スピーチを中心に構成されています。観衆から受けた質問に対して、現状と自分のスタンスを混ぜながらのスピーチをすることが基本のスタイルです。スピーチする生徒は皆、観衆と会話しているかのような自然な話し方で、日頃の時事問題への関心の高さと、スピーチ中の頭の回転の早さを感じます。

今回の Fall Conference では他にもスピーチの部門があり、他校の高校3年生達の「リーダーシップ」をテーマとしたスピーチには、風格があり特に感動しました。

参加者は皆、時間制限がない為、話し方もゆったり堂々としていて、会場中の人に聞き取れるようなスピーチでした。日本でやっていた英語ディベートとはまた違った雰囲気があり、とても興味深かったです。



ボランティアで町中の消火栓のペンキを塗りなおしました。



Youth in Government

こちらでの生活にも少しずつ慣れてきました。今後も頑張ります。